

小論文検定 2023 年第2回検定(前期・後期)の課題

スタンダードコース

4 級 / 5 級 / 6 級

制限字数=800字 時間=60分

文章は常体で書くこと。

■課題■ ふるさと納税制度について

自分の出身地や応援したい地域に寄付金を納めやすくする「ふるさと納税」制度。寄付金のうち2000円を超える額が一定限度額まで所得税や個人住民税から控除されたり、返礼品がもらえたりすることから寄付金額は年々増加。総務省によると2022年度の自治体の受入額は約9654億円にのぼり、過去最多となった。

多くの自治体で寄付者が寄付金の使い道を指定できるようになっており、寄付者はその自治体が力を入れたい取り組みや抱えている課題を解決する一助となれる。その一方でふるさと納税の影響で、都市部を中心に税収減となっている自治体もある。

あなたはふるさと納税を行いたいのか、行いたくないのか。どちらかの立場を選び、その理由について800字以内で述べよ。また、行いたい場合にはどのようなことに使ってほしいかについても具体的に記述すること。

マスターコース

1 級 / 2 級 / 3 級

制限字数=1200字 時間=90分

文章は常体で書くこと。

■課題■ 少子化と人口減少について

少子高齢化が加速している。2022年の出生数は77万747人で、初めて80万人を割り込んだ。23年1月1日時点での15歳未満の子どもの数は全人口の11.6%、一方で65歳以上の高齢者は29%でそのうち半数以上を75歳以上の後期高齢者が占めている。

少子化により08年以降、総人口は減少に転じている。56年には1億人を下回り、70年には8700万人まで減少すると見込まれている。一方で70年には65歳以上は39%（75歳以上は25%）を占め、現在よりもさらに深刻な超高齢社会となる。将来的に経済・社会を維持していくことが困難となる少子化と人口減少問題に歯止めをかけるべく、政府は23年6月、経済成長実現と少子化対策の両面に取り組む「こども未来戦略方針」を決定した。

少子化によってどのような問題が起こり、それが自分にどのように影響すると考えられるかを調べたうえで、少子化が進む社会であなたができる行動は何か、1200字以内で述べよ。